

2017年度 第2四半期 決算説明会資料

2017年8月2日(水)
カゴメ株式会社(2811)
<http://www.kagome.co.jp/company/ir>

本日のご説明内容

I. 2017年度第2四半期決算内容と今後の取組

- ・増収増益、業績上方修正
- ・野菜生活100スムージーが大幅な増分を獲得
- ・収益構造の改革、働き方の改革が進む

II. 中期経営計画進捗

- ・中計は順調に推移

III. 2017年度業績予想

- ・期初配当予想27円から28円に増配

2017年度第2四半期 連結業績

連結業績		対前年		対期初予想
売上高	1,041億円	+58億円	+6%	+31億円
営業利益	62億円	+7億円	+12%	+11億円
経常利益	67億円	+10億円	+18%	+14億円
四半期純利益※	48億円	+16億円	+49%	+13億円

※親会社株主に帰属する四半期純利益

- ・売上、各段階利益、増収増益
- ・野菜飲料が好調に推移。収益構造の改革、働き方の改革成果

2017年度第2四半期 事業別業績



単位:億円

	売上高			
	16年度	17年度	増減額	増減率
国内加工食品事業	690	747	+ 57	+ 8%
国内農事業	63	61	▲2	▲3%
国際事業	236	243	+ 7	+ 3%
その他/セグメント間取引	▲5	▲10	▲5	-
合計	983	1,041	+ 58	+ 6%

単位:億円

	営業利益			
	16年度	17年度	増減額	増減率
国内加工食品事業	32	51	+ 19	+ 59%
国内農事業	10	3	▲7	▲70%
国際事業	10	5	▲5	▲49%
その他/セグメント間取引	4	3	▲1	-
合計	55	62	+ 7	+ 12%

- ・国内加工食品事業(増収増益):野菜生活100スムージー、トマトジュース好調
- ・国内農事業(減収減益):生鮮トマト市場価格の下落
- ・国際事業(増収減益):米国業務用好調、オーストラリア豪雨によるトマト収量減少

野菜生活100スムージーが36億円の増分

330mlリキャップ容器

野菜の健康感

小腹満たし



従来の野菜飲料とは異なる
20～30代の新しい
飲用層獲得

- ・スムージー市場は、前年比7割増の伸び
- ・来年度は、需要拡大に備えて自社生産ラインを導入予定

2017年度第2四半期 国内加工食品事業



GREENS販売エリア拡大



無添加フレッシュスムージーへ リニューアル



東海、北陸、近畿に 販売エリアを拡大

機能性表示トマトジュース好調



血中コレステロールが
気になる方に 機能性表示食品
食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

前年比3割増

機能性表示野菜ジュース発売



血圧が高めの方に
機能性表示食品
食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

10月
発売

2017年度第2四半期 国内加工食品事業



ナポリタンスタジアム開催

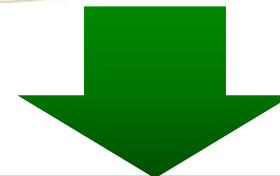


コンビニ・スーパー惣菜向け 業務用受託商品好調



つぶより野菜好調

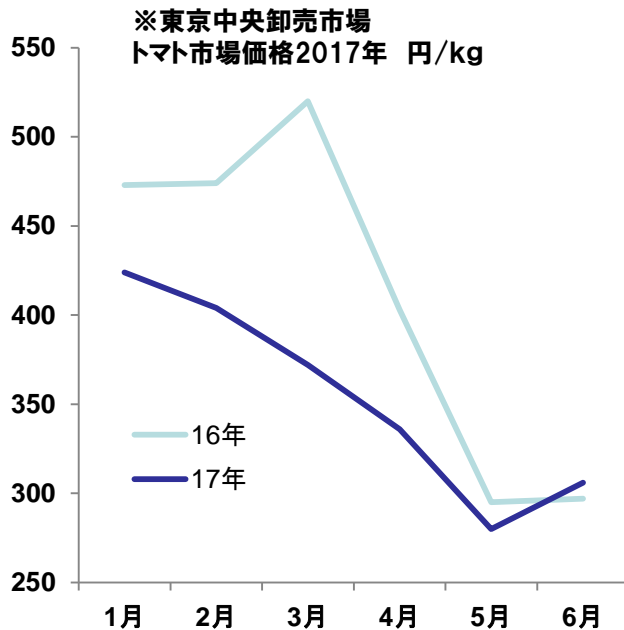
リコピンコレステファイン好調



2017年度通販年間売上
100億円突破見込

生鮮トマトの市場価格下落により減収減益

トマト市場価格推移



スーパーベジタブル



ベビーリーフ

高リコピントマトとベビーリーフの
美カプレーゼ

調理時間 約 10分
エネルギー 186 kcal



材料 4人分

- カゴメ 高リコピントマト 4個
- カゴメ ベビーリーフミックス 1パック
- モッツァレラチーズ 2個
- 塩 少々
- 黒こしょう 少々
- エキストラバージンオリーブ油 大さじ 1

作り方

- ① トマトとベビーリーフミックスは水洗いし、よく水気をとる。
- ② トマトとモッツァレラチーズをくし切りにする。
- ③ ①を②にし、③を交互に盛り付けて、塩、黒こしょう、オリーブ油を回しかける。

山梨県高根ベビーリーフ菜園

- ・カゴメから市場へのトマト供給量は10%増
- ・スーパーベジタブルシリーズ販売強化

米：業務用好調、オーストラリア：豪雨影響により増収減益

米国：カゴメインク社



大手フードサービス
顧客向け
ソリューション型
ビジネス好調

豪：カゴメオーストラリア社



豪雨影響による
加工用トマト収量減

ポルトガル：HIT社



トマトペーストの
新たな販路を開拓

種子育苗事業 米国：UG社

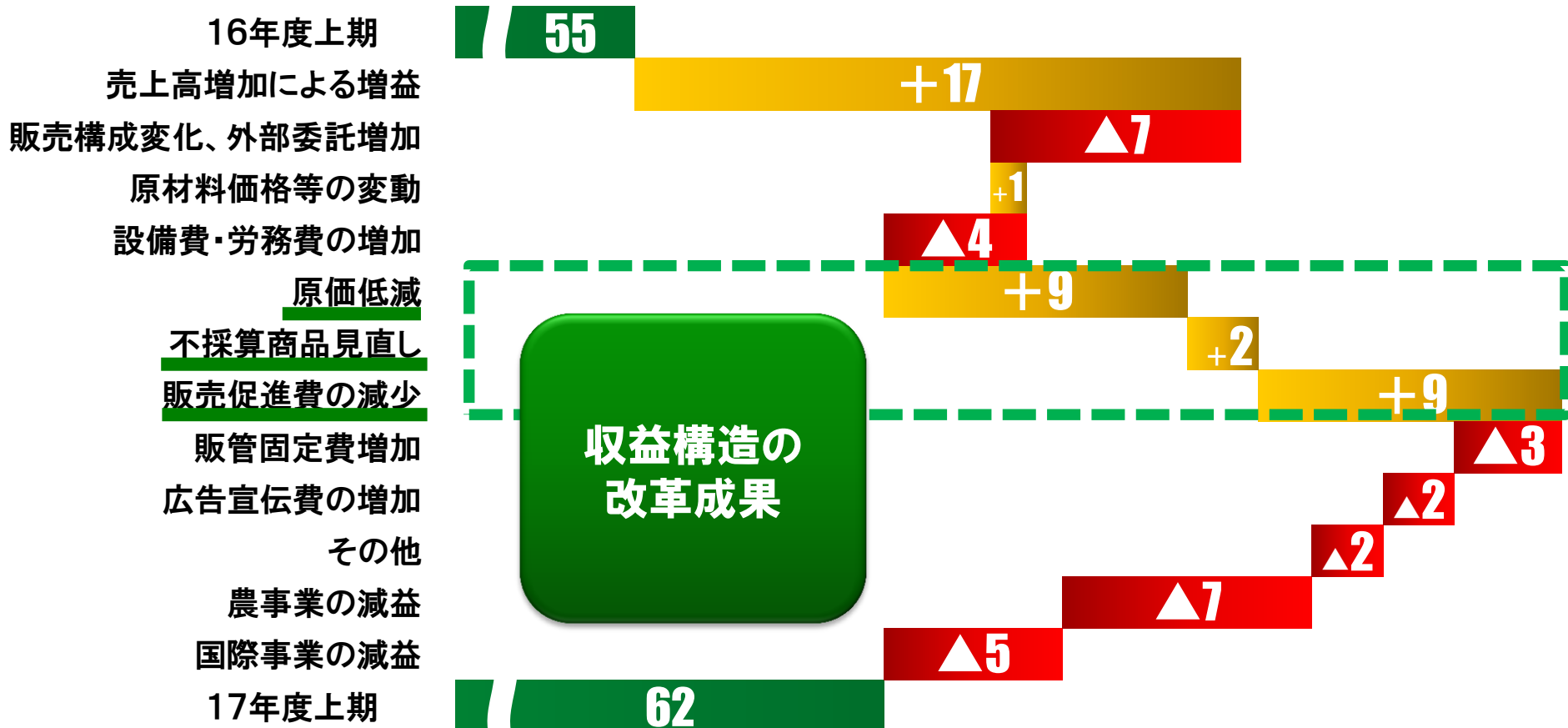


欧州、中南米の
販路拡大

2017年度第2四半期 営業利益増減要因



単位：億円



収益構造の改革 / 働き方の改革



収益構造の改革

限界利益
マネジメント



在庫削減



生産効率化



働き方の改革

在宅勤務制度



時差勤務制度



健康経営



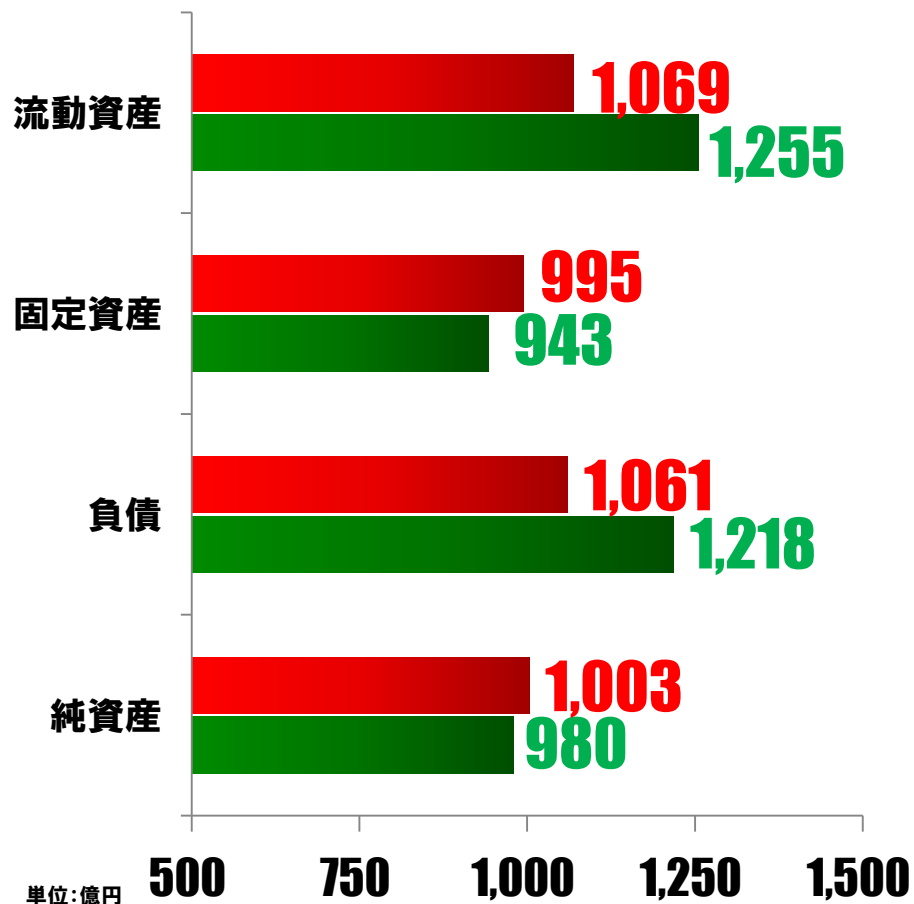
2017
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

2017年度第2四半期 連結貸借対照表変動



総資産/負債・純資産
2,064億(前期末比▲134億円)

単位:億円



■:2016年12月末 ■:2017年6月末

流動資産 ▲186

- ・キャッシュの減少 ▲180
- ・在庫の減少 ▲41

固定資産 +52

- ・固定投資による増加 +35
- ・償却による減少(のれん含む) ▲34
- ・保有株式の時価上昇 +22

負債 ▲157

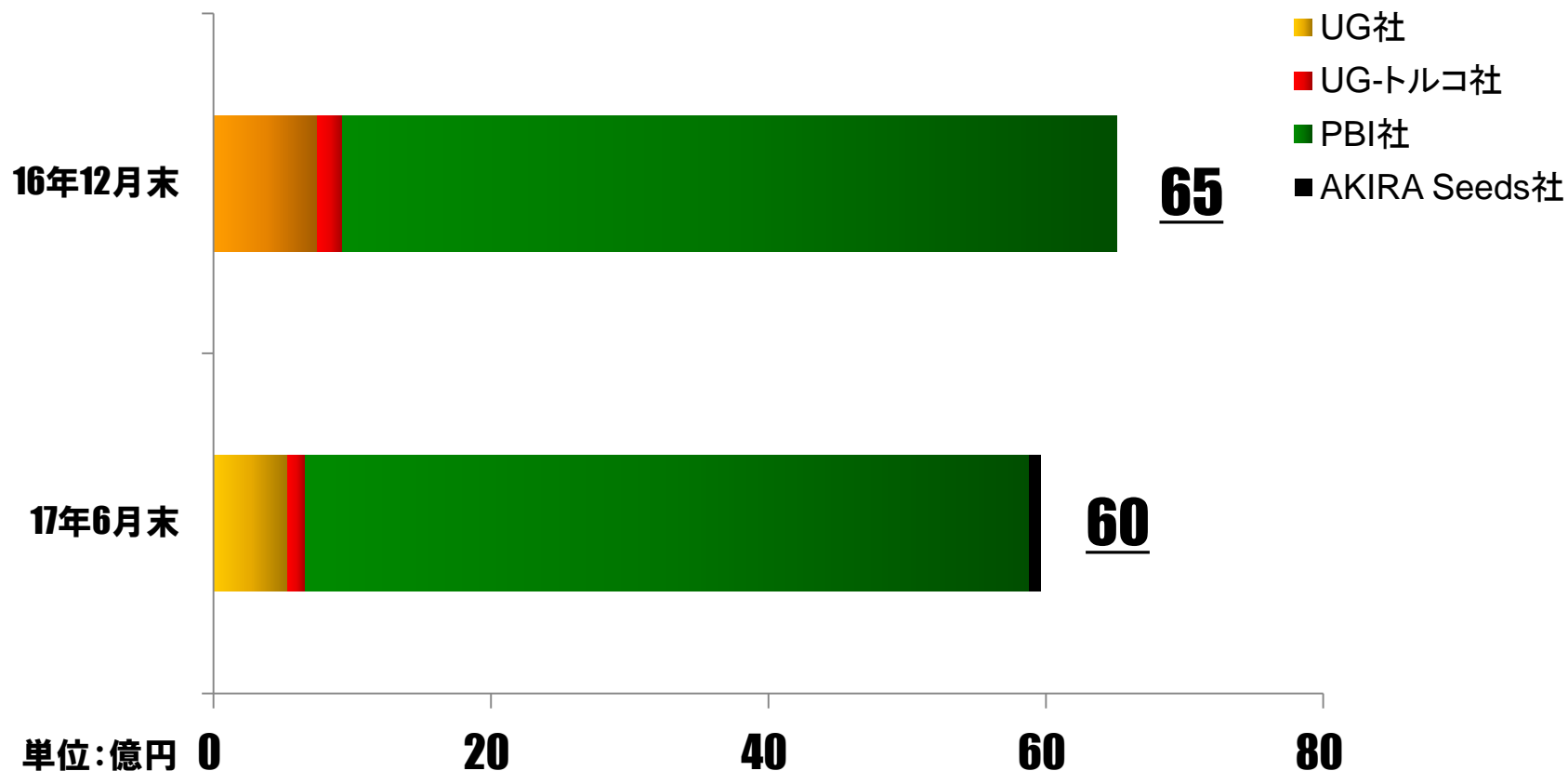
- ・借入金の返済 ▲223

純資産 +23

- ・純利益による増加 +48
- ・配当による減少 ▲22

2017年度第2四半期 のれん変動

のれん 60億(▲5億円)



- ・AKIRA Seeds社株式取得により1億円増加
- ・のれん償却により4億円減少(PBI社:20年償却、PBI社以外:5年償却)
- ・円高に伴う為替換算影響により2億円減少

2017年度第2四半期 キャッシュフロー



単位：億円

	16年度	17年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー(A)	+ 86	+ 129	+ 43
投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	▲ 129	+ 34	+ 163
定期預金、有価証券に係る収支(C)	▲ 100	+ 102	+ 202
フリーキャッシュ・フロー(A+B-C)	+ 57	+ 61	+ 5

本日のご説明内容

I. 2017年度第2四半期決算内容と今後の取組

II. 中期経営計画進捗

III. 2017年度業績予想

中期経営計画 2018年度定量目標

連結売上高: **2,200億円** (当初目標通り)

連結
営業利益率: **6%** **132億円** 17年2月
上方修正

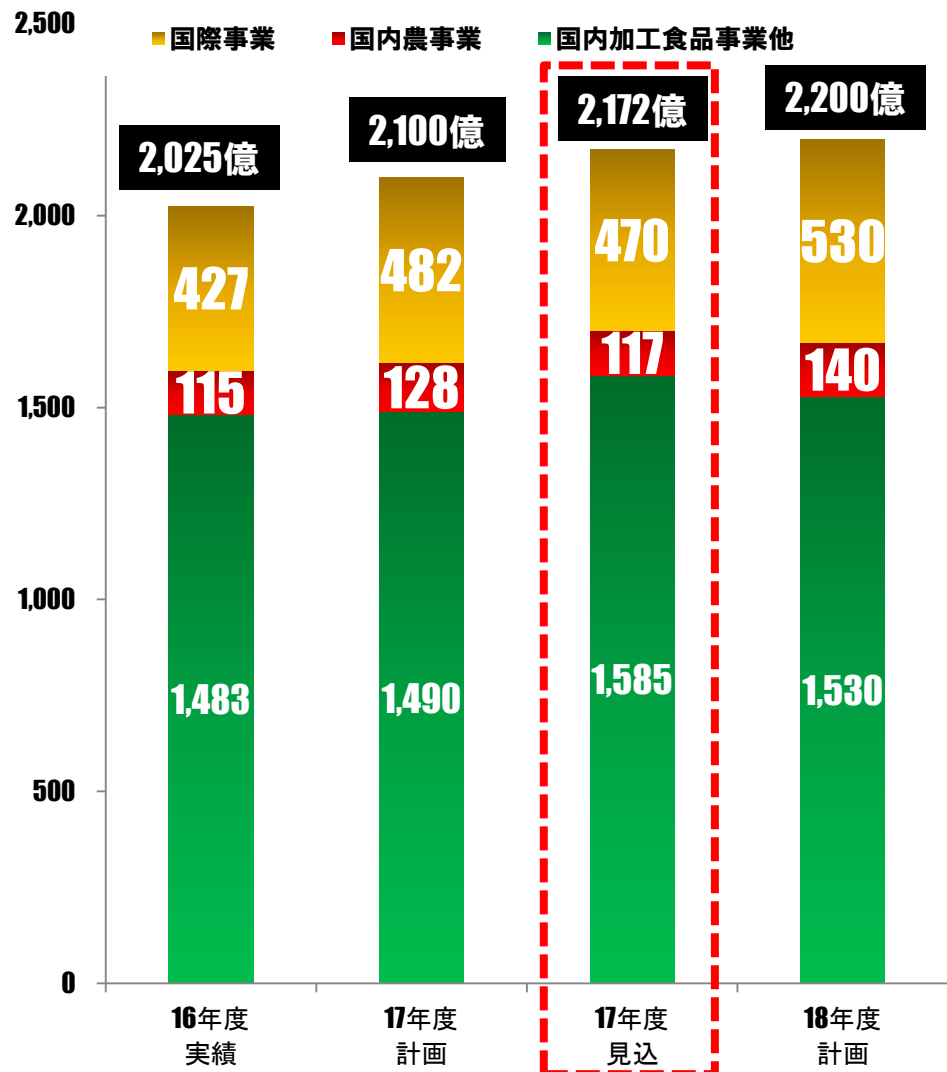
ROE: **8%** 17年2月
上方修正

中期経営計画進捗

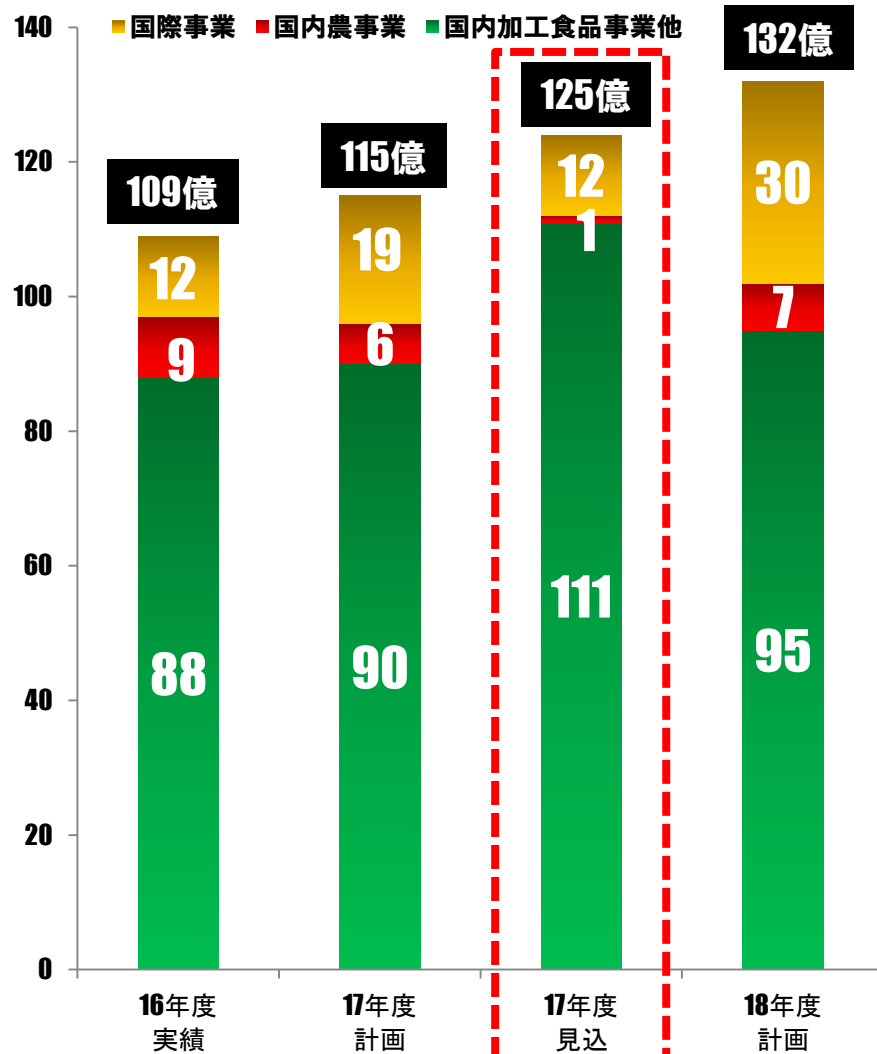
※18年度は中計スタート時の計画であり、事業別の計画は変更予定です。



◆売上計画



◆営業利益計画



※各事業は「セグメント間の消去・及び調整」後数値

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

本日のご説明内容

I. 2017年度第2四半期決算内容と今後の取組

II. 中期経営計画進捗

III. 2017年度業績予想

2017年度通期業績予想

◆事業別業績予想

単位:億円

単位:億円

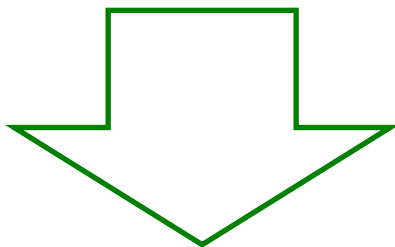
	売上高			
	16年度	17年度	増減額	増減率
国内加工食品事業	1,469	1,575	+ 106	+ 7%
国内農事業	115	117	+ 2	+ 2%
国際事業	474	508	+ 34	+ 7%
その他/セグメント間取引	▲33	▲28	+ 4	-
合計	2,025	2,172	+ 146	+ 7%

	営業利益			
	16年度	17年度	増減額	増減率
国内加工食品事業	81	105	+ 24	+ 30%
国内農事業	9	1	▲7	▲85%
国際事業	12	12	+ 0	+ 0%
その他/セグメント間取引	7	6	▲2	-
合計	109	125	16	+ 14%

2017年度配当予想

◆配当予想

◆2017年度期初 配当予想 **27**円



◆2017年度修正 配当予想 **28**円



注意事項

当資料はカゴメの現在の計画、見通し、戦略などのうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたカゴメの経営者の判断に基づいております。従いまして、これら業績見通しのみで全面的な依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、以下のようなものが含まれます。すなわち、①天候、特に夏場の低温 ②異物混入等の製品事故 ③カゴメの事業領域を取り巻く経済情勢、特に消費動向 ④変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品やサービスをカゴメが企画・開発し続けていく能力、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また当資料は、あくまでカゴメをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。さらに当資料に記載されている市場などのデータ等におきましても、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した情報に基づき作成しておりますが、将来の予測のみならず過去の部分も含めて、見直し等により予告なしに変更することがありますので注意ください。